

# フジ（ノダフジ）（マメ科）

～唐津城の銘花～

唐津市の春の見どころにはソメイヨシノとフジ（ノダフジ）の花である。唐津市の観光スポットのシンボルである唐津城では、毎年春になるとソメイヨシノとフジの花を見る観光客で賑わう。4月初めのソメイヨシノの花見が終わると、次はフジの花見のシーズンである。この時期は、唐津市民にとってはソメイヨシノの花見から、フジの花見へと楽しみが続く。フジの花の見ごろは、例年5月の初旬である。

唐津城の120段の石段を登りつめると、眼前に、約420平方メートルのフジ棚に満々と開花した花を垂れ下げたフジの花が目に入り。その豪華さには一瞬息をのむ。長さ30～90cmの花序に紫色の花が何十と連なっている。フジ棚の下を歩くとそのふくよかな香り降りかかってくる。上の方から下の方に順々に開花していくフジ（ノダフジ）は、長く花を楽しむことができる。

樹齢百数十年といわれるこの木は、1本の木から枝分かれをしたものである。唐津市の天然記念物に指定されている。ヤマフジと違って、佐賀県での分布は希ですが、栽培は広くされているようである。かつて、フジ（ノダフジ、ヤマフジ）は飢饉時の救荒食物に数えられ、若葉はゆでて、熟した豆は炒って食べたそうである。

分野	自然
地域	唐津
◎地図・写真・統計資料など	



（唐津新聞社より）

## ◎引用・参考文献（出典）

- ◆『佐賀県植物目録』佐賀植物友の会 馬場胤好編
- ◆『佐賀の街路樹・庭園木』佐賀植物友の会 監修 初島住彦
- ◆『九州の花図鑑』益村聖

## ◎エピソード・伝承・うんちく など

**唐津市の花『藤』**  
藤の木は、細いながら大地にしっかり根を下ろし、木と木がしっかり絡み合い成長し毎年多くの花房からなる花を咲かせます。新唐津市が、藤のようにしっかりと絡み合って大木として成長し、協働して花を咲かせていく姿を表します。  
また「藤」の花ことばは、「歓迎」で、唐津市を訪れる人々を暖かい心でお迎えする唐津市のイメージも現します。

**唐津市の木『松』**  
国の特別名勝で、日本三大松原の一つに数えられる「虹の松原」は唐津市の象徴であり、昔から市民に親しまれています。  
「虹の松原」は唐津の宝であり、生き生き（いきいき）とした松の葉の常緑は、躍動感あふれ、さらなる繁栄を願う唐津市にふさわしい木です。

## ◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)